予算問題

問 新年度の事業計画と予算編成は

答 住民の声を反映した事業と予算に

太田　修　議員

【平成24年度事業計画と予算について】

問　主要施策は。

村長　財政的な見地から判断し、住民の声を反映させるために事業の精査や収入の的確な把握を指示し、３月定例会で報告します。

問　マスタープラン構想の将来像に、「北部のスポーツレクリエーション活動を主体とした観光のまちづくり」とあるが、松川村有地の活用は。

村長　松川提内地に構造物等の制約があり、クリアする方向で検討しています。

問　災害時の状況把握と行政と地区の役割分担は。

村長　災害時に、住民一人ひとりの自助、地域の共助、防災関係機関による公助が必要です。住民の防災意識、地区では災害時住民支え合いマップ等で、的確な情報伝達と迅速な避難支援が必要であります。行政は地区からの情報を一元的に管理し、関係機関との連携を密に、迅速かつ的確な災害援助に取り組みます。

問　地域高規格道路のルート素案は。

村長　区長や各団体等53組織からなる「松本・糸魚川連絡道路建設促進実行委員会」から議会と村宛てに要望書の提出があり、区長会に経過を説明し、議会とともに県に要望していきます。

【観光施策について】

問　局長就任時に託した内容は。

村長　新体制に基づいた運営に努め、会員とのコミュニケーション、情報公開の徹底、運営の透明性を高めるよう指示をしました。

問　県スキー発祥１００周年やインバウンド事業等今季誘客宣伝は。

村長　１００周年記念事業は、「白馬雪恋祭り」２月10日から10日間スノースポーツに限定しない誘客施策として、白馬47スキー場で「かまくらフェスティバル」を開催、また、各スキー場の協力をいただき、来シーズンのリフトシーズン券や宿泊補助券などが当たる「スタンプラリー」などを予定しています。インバウンド事業では、小谷村観光連盟と連携し、白馬山麓エリアとしてアジア圏の招へいに取り組み、また、首都圏を中心に15か所で宣伝活動を行いました。

【いこいの杜施設の整備計画について】

問　総合拠点施設整備としてのトイレ改修と多目的周遊コースの整備計画は。

村長　平地観光の一翼を担う施設であり、整備充実は必要と認識しつつも、財政面等の問題もあり、関係地権者のご理解をお願いします。トイレ・建物等の老朽化を含め改修。また、周遊コースは姫川沿いに、白馬三山を眺望できるコースの整備検討を進めます。

100人トレイン（長野県スキー発祥100周年記念　八方尾根スキー場）　1月25日